

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））
分担研究報告書

疾患登録・調査研究分科会

【研究課題名】

重点疾患2013年度新規受療患者数調査ならびに経年的推移の検討

【研究分担者】

渡辺 毅 福島県立医科大学医学部腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学 教授

【研究協力者】

旭 浩一 福島県立医科大学医学部腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学 准教授
井関邦敏 琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部 部長

研究要旨

2014年10月より日本腎臓学会指定研修施設（日腎研修施設）日本泌尿器科学会の教育基幹施設に所属する診療科、日本小児腎臓病学会評議員が在籍する診療科など、わが国の腎疾患診療の基幹診療科1733診療科を対象にアンケート調査を実施し、各診療科における重点疾患の2013年度新規受療者数ならびに腎生検年間実施状況等を調査し、稀少疾患の把握、疾患別新規受療者数の推定と過年度調査との比較検討を行った。

2014年12月までに486診療科（内科190科、小児科68科、泌尿器科224科、その他4科）から回答を得た（回収率28.0%）。アンケート回答診療科における2013年度の重点疾患新規受療者は、IgA腎症（IgAN）2085例、急速進行性糸球体腎炎（RPGN）928例（MPO-ANCA型51%、PR3-ANCA型3%、抗GBM抗体型6%）、難治性ネフローゼ症候群（NS）297例（MCNS20%、MN38%、FSGS21%）、多発性嚢胞腎（PKD）1047例、腎生検施行数は8814例であった。抗GBM抗体型RPGNは58例が新規に把握された。日腎研修施設におけるアンケート回収率（31.3%）、病床数カバー率（34.6%）より推計した2013年度の日腎研修施設全体における新規受療者はそれぞれIgAN約5300-5900例、RPGN約2400-2700例、難治性NS約800例、PKD約2000-2200例、腎生検施行数は約20000-22000例と推算された。新規受療者数の2007年度からの経年的推移はRPGNで増加傾向が明瞭であり、2011年度以降東日本でその傾向がより大きい状況が持続していることが示唆された。J-RBR/J-KDRへの参加登録済の診療科における、重点疾患の病因・病型分類の構成比は全回答診療科ならびに日腎研修施設教育責任者在籍診療科のそれと概ね一致していた。

A. 研究目的

進行性腎障害の重点4疾患（IgA腎症（IgAN）、急速進行性糸球体腎炎（RPGN）、難治性ネフローゼ症候群（NS）、多発性嚢胞腎（PKD））の2013年度新規受療者数ならびに腎生検年間実施数等を調査し、稀少疾患（抗糸球体基底膜（GBM）抗体型RPGN、常染色体劣性多発性嚢胞腎（ARPKD））の把握、患者登録システム（J-RBR/J-KDR）のvalidity検証の参考データの提供、患者数の推計、過年度調査との比較検討を行う。

B. 研究方法

2014年10月より日本腎臓学会指定研修施設（日腎研修施設）の教育責任者の属する560診療科、日腎研修施設での診療科以外に腎臓専門医が在籍する80診療科、小児腎臓病学会評議員が在籍する以外の41診療科、日本泌尿器科学会の教育基幹施設に所属する834診療科、

上記以外の腎疾患の基幹となる診療科218診療科の合計1733診療科を対象に調査票（図1）を送付し、下記の項目について調査した。記入後、郵送にて回収ののち集計した。また過年度までのアンケート調査に基づき、重点疾患新規受療患者数推計値の年次推移を検討した。さらに2011年度から本年度までの4年間、本アンケート調査に連続して回答のあった37診療科（すべて日腎研修施設：東日本（北海道、東北、関東）の17診療科と西日本（甲信越、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）の20診療科）について2010年度から2013年度の4年間のRPGN新規受療者数と年間腎生検施行数を集計し、その経年変動の地域差を検討した。

調査項目：

- A) 施設、診療科に関する項目
A-1. 所属診療科
A-2. 所属医療機関総病床数

B) 2013 年度 (2013.4.1~2014.3.31) 新規受療患者数

B-1) IgA 腎症 (当該診療科で腎生検により新たに確定診断したもの)

B-2) 急速進行性糸球体腎炎 (総数、腎生検施行例数)

B-2-1. うち MPO-ANCA 型

B-2-2. うち PR3-ANCA 型

B-2-3. うち抗 GBM 抗体型

B-3) 一次性ネフローゼ症候群 (総数、腎生検施行例数)

B-3-1) うち難治性ネフローゼ症候群

B-3-1-1) うち微小変化型 (MC)

B-3-1-2) うち膜性腎症 (MN)

B-3-1-3) うち巣状糸球体硬化症 (FSGS)

B-4) 多発性嚢胞腎 (総数)

B-4-1) うち常染色体劣性多発性嚢胞腎 (ARPKD)

C) 任意回答項目

C-1) 腎臓病総合レジストリー

(J-RBR/J-KDR) への登録 (未・済)

C-2) 2013 年度年間腎生検数

C. 研究結果

i) 調査票回収率と内訳:

2014 年 12 月 31 日までに回答のあった診療科を解析対象とした。回答診療科はアンケート送付診療科 1733 診療科より 486 科 (回収率 28.0%) であった。診療科の属性別の回収状況は、日腎研修施設の教育責任者の属する 560 診療科より 175 科 (回収率 31.3%)、日腎研修施設での診療科以外に腎臓専門医が在籍する 80 診療科より 43 科 (同 53.8%)、小児腎臓病学会評議員が在籍する以外の 41 診療科より 17 科 (同 41.5%)、日本泌尿器科学会の教育基幹施設に所属する 834 診療科より 213 科 (同 25.5%)、上記以外の 218 診療科より 38 診療科 (同 17.4%) であった。

診療科別内訳は内科 190 科、小児科 68 科、泌尿器科 224 科、その他 4 科であった。この内、腎臓病総合レジストリー (J-RBR/J-KDR) に参加登録済施設の診療科は 91 診療科であった。(表 1)

ii) 2013 年度の重点疾患新規受療患者数:

重点疾患の 2013 年度新規受療患者数は IgAN 2085 例、RPGN 928 例 (うち腎生検施行例 514 例: 腎生検施行率 55.4%)、一次性 NS 1888 例 (うち腎生検施行例 1248 例: 腎生検施行率 66.1%)、難治性 NS 297 例、PKD 1047 例であった。

各疾患の新規受療診療科内訳、新規受療者総数に対し、日腎研修施設の教育責任者の属する診療科ならびに J-RBR/J-KDR 参加登録済施設の新規受療例が占める割合を (表 2) に示す。

iii) 2013 年度年間腎生検施行数:

回答 486 診療科における年間腎生検総数は 8814 例であった。診療科別、所属分類 (日腎研修施設の教育責任者の属する診療科、J-RBR/J-KDR 参加登録済施設の診療科) 別の施行数を (表 3) に示す

iv) 2013 年度各疾患 (RPGN、難治性 NS、PKD) の病因・病型別新規受療者数 (構成割合) (表 4):

RPGN 新規受療例 928 例の病因別患者数 (構成割合) は、MPO-ANCA 型 476 例 (51.3%)、PR3-ANCA 型 26 例 (2.8%)、抗 GBM 抗体型 58 例 (6.3%) であった。診療科別、所属分類 (日腎研修施設の教育責任者の属する診療科、J-RBR/J-KDR 参加登録済施設の診療科) 別の病因別患者数、構成割合を (表 4-1) に示す。

難治性 NS は、各病型別の受療者数の合計が「難治性 NS の新規受療者数」を上回った場合、病型分類に「難治性に該当しない」一次性 NS を含めたと考えられたため、無効回答として集計から除外した。有効回答とみなされた新規受療例 297 例の各病型の患者数 (構成割合) は、微小変化型 (MCNS) 60 例 (20.2%)、膜性腎症 (MN) 112 例 (37.7%)、巣状分節性糸球体硬化症 (FSGS) 62 例 (20.9%) であった。診療科別、所属分類 (日腎研修施設の教育責任者の属する診療科、J-RBR/J-KDR 参加登録済施設の診療科) 別の病型別患者数、構成割合を (表 4-2) に示す。

PKD は新規受療例 1047 例のうち ARPKD とされた患者数は 54 例 (5.2%) であった。診療科別、所属分類 (日腎研修施設の教育責任者の属する診療科、J-RBR/J-KDR 参加登録済施設の診療科) 別患者数を (表 4-3) に示す。

v) 日腎研修施設における 2013 年度の重点 4 疾患の新規受療者数、腎生検数の推計 (表 5):

日腎研修施設を中心とした過年度の患者数調査との比較のため、過年度同様に回答施設・診療科のうち日腎研修施設 (教育責任者の所属する診療科) 175 診療科からのデータを用いて、各疾患の新規受療患者数をアンケート回収率並びに回答施設の日腎研修施設全施設の合計病床数に対する病床カバー率で除し、推計を試みた。未回答施設も含む日腎研修施設全 560 施設 (2014 年 4 月 1 日現在) の総病床数 281,070 床に対し、回答 175 科の所属施設総病床数は 97,390 床で、アンケート回収率は 0.313、病床カバー率は 0.346 であった。難治性 NS については有効回答診療科数 172 科とその総病床数 94,858 床を計算に用いた (アンケート回収率 0.307、病床カバー率 0.337)。その結果日腎研修施設における重点 4 疾患の 2013 年度の新規受療患者の推計値は、それぞれ IgAN

5344-5907 例、RPGN 2402-2655 例、難治性 NS 757-831 例、PKD 1980-2188 例と推算された。

同様に日腎研修施設における 2013 年度の腎生検施行数は 19,919-22,019 例と推計された。

vi) 日腎研修施設における重点疾患新規受療患者推計数の推移の検討：

重点疾患新規受療者推計数の年次推移 (2007-2013 年度)

アンケートに基づき、前述と同様の方法で推算した 2007~2013 年度分の重点疾患新規受療者推計数 (下 2 桁四捨五入) を (表 6) に示す。IgAN の推計数の増減は不明瞭でありほぼ横ばい、RPGN は増加傾向が持続している。回答施設の病床規模の分布は日腎研修施設全体の病床規模分布に比し大規模施設がやや多いが、各年度ほぼ同様であった。(図 2)

2011-2014 年アンケート調査連続回答診療科における RPGN 新規受療患者数の検討 (2010-2013 年度の患者数年次推移と地域差の検討)：

2011 年度から本年度までの 4 年間、本アンケート調査に連続して回答のあった 37 診療科 (全て日腎研修施設) において RPGN 新規受療数は 2010 年度 242 例、2011 年度 249 例、2012 年度 285 例、2013 年度 281 例、年間腎生検施行数は 2010 年度 2282 例、2011 年度 2086 例、2012 年度 2234 例、2013 年度 2157 例であった。地域 (東日本、西日本) 別の RPGN 新規受療患者数と年間腎生検施行数を (表 7) に示す。東日本で RPGN 新規受療者の増加傾向が大であるが、2013 年度にはその傾向がやや鈍化していた。年間腎生検施行数明らかな経年変動、地域差は見られなかった。(図 3)

D. 考察

本年度のアンケート調査は例年とほぼ同様の対象に対し、同じ調査項目で実施し経年的データが蓄積された。患者数推計の基礎となるアンケート回収率、回答施設の病床カバー率、施設 (病床) 規模分布はここ数年変動なく母集団の特性は安定していると考えられる。

日腎研修施設における重点疾患の新規受療患者数とその動向は、RPGN で新規受療患者数の推計値の比較的明瞭な増加傾向が 2013 年度も持続していた。IgAN は大きな変動はない。難治性 NS は経年的に微減傾向、PKD は増加傾向に見えるが、いずれも傾向は必ずしも明瞭ではない。この間 NS に対するリツキシマブの臨床応用の進展や PKD に対するトルバプタンの保険収載など、各種治療の発展が見られており、治療成績の向上や新規患者の拾い上げなどとの関連も含め、引き続き今後の患者数動向を注視してゆく必要がある。

また、昨年までに観察された、2010 年度から 2012 年度までの 3 年間の定点観測における RPGN

新規受療患者数の増加の地域による差異は、2013 年度までの 4 年間の定点観測 (37 診療科) の解析においても同様の傾向で、関東以北の東日本で増加率が大きく、その傾向は 2013 年度に入り鈍化していた。この一連の動向の要因は不明であるが、1995 年の阪神淡路大震災後の被災地における MPO-ANCA 関連血管炎の発現頻度の増加の報告 (Am J Kidney Dis 2000; 35: 889-895) に示されるような、2011 年 3 月の東日本大震災や、震災後の地域の医療事情などとの関連にも興味を持たれる。

稀少疾患は抗 GBM 抗体型 RPGN が 58 例、ARPKD が集計上 54 例把握され、いずれも例年とほぼ同様の結果であった。

J-RBR/J-KDR 参加登録済診療科における重点疾患の病因・病型分類の構成比は本年度調査においても全回答診療科ならびに日腎研修施設教育責任者在籍診療科のそれと概ね一致し、全体との乖離は無いことが改めて確認された。

E. 結論

1. 2013 年度の日腎研修施設における対象疾患受療患者数は IgAN 約 5400-5900 例、RPGN 約 2400-2700 例、難治性 NS 約 800-800 例 (一次性 NS 約 4500-5000 例)、PKD 約 2000-2200 例と推計され、2007 年度からの経年的推移は RPGN で増加傾向が明瞭である。
2. 抗 GBM 抗体型 RPGN は 58 例の新規受療例が把握された。
3. 腎生検は 20000-22000 例と推計された。
4. J-RBR/J-KDR の参加登録済施設の疾患・病型分布は未登録施設を含めた日腎研修施設における分布とほぼ一致する。
5. 2011 年度以降の RPGN の増加傾向は地域差があり、その傾向は 2013 年度現在、東日本で大であることが示唆される。

謝辞：別表にアンケート調査にご協力をいただきました医療機関の施設名・診療科名を示し、深甚なる感謝の意を表します。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

「難治性腎疾患に関する調査研究」疫学アンケート調査 回答票

| | | |
|----------|---|--------|
| 貴医療機関名 | ご所属診療科名 | 代表者ご氏名 |
| 所在地 (〒) | 本アンケート担当者ご氏名： () 連絡先 () □電話 □FAX □e-mail | |

A. 施設、診療科に関する項目：貴診療科の分類と、貴所属機関の総病床数をお教え下さい。

| | |
|---------------------|---|
| 1. ご所属診療科分類(√でチェック) | <input type="checkbox"/> 1. 内科 <input type="checkbox"/> 2. 小児科 <input type="checkbox"/> 3. 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 4. その他 |
| 2. ご所属医療機関の総病床数 | _____床 |

B. 平成25年度の新規受療患者数：平成25年4月1日～平成26年3月31日の1年間(平成25年度)に貴診療科で新規に受療した患者の実数をお教え下さい。

| | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|--|---------------------|---|--------|----------------------|---|--------|------------------------|
| 1. IgA腎症(※1) | _____人 | ※1: 貴診療科で腎生検を行い、確定診断をした症例数をお教え下さい。 | | | | | | | |
| 2. 急速進行性糸球体腎炎 | _____人 | →2のうち腎生検施行例_____人 | | | | | | | |
| | | 2-1 上記2のうちMPO-ANCA型 → | _____人 | | | | | | |
| | | 2-2 上記2のうちPR3-ANCA型 → | _____人 | | | | | | |
| | | 2-3 上記2のうち抗GBM抗体型 → | _____人 | | | | | | |
| 3. 一次性ネフローゼ症候群(NS) | _____人 | →3のうち腎生検施行例_____人 | | | | | | | |
| | | 3-1 上記3のうち難治性NS(※2) → | _____人 | | | | | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>3-1-1 難治性NSのうち MCNS</td> <td>→</td> <td>_____人</td> </tr> <tr> <td>3-1-2 難治性NSのうち 特発性MN</td> <td>→</td> <td>_____人</td> </tr> <tr> <td>3-1-3 難治性NSのうち 一次性FSGS</td> <td>→</td> <td>_____人</td> </tr> </table> | 3-1-1 難治性NSのうち MCNS | → | _____人 | 3-1-2 難治性NSのうち 特発性MN | → | _____人 | 3-1-3 難治性NSのうち 一次性FSGS |
| 3-1-1 難治性NSのうち MCNS | → | _____人 | | | | | | | |
| 3-1-2 難治性NSのうち 特発性MN | → | _____人 | | | | | | | |
| 3-1-3 難治性NSのうち 一次性FSGS | → | _____人 | | | | | | | |
| <p>※2: ステロイドと免疫抑制薬を含む 種々の治療を6カ月行っても、 完全寛解または不完全寛解型 (尿蛋白<1g/日)に至らない症例数 をお教え下さい。</p> | | | | | | | | | |
| 4. 多発性嚢胞腎 | _____人 | | | | | | | | |
| | 4-1 うちARPKD(常染色体劣性多発性嚢胞腎) → | _____人 | | | | | | | |

C. その他

| | |
|---|---|
| 腎臓病総合レジストリー(J-RBR/J-KDR)への施設登録はされていますか？(症例登録の有無は問いません) | <input type="checkbox"/> 1 済 <input type="checkbox"/> 2 未 |
| 貴診療科の年間腎生検数(平成25年4月1日～平成26年3月31日)(関連施設で施行された例は除き、貴診療科で施行した例数のみ) | 例 |

ご協力誠にありがとうございました。〇色の返信用封筒(切手不要)にてご返信下さい。

図1 調査票(アンケート回答票)

表1 アンケート送付先、回収率と診療科内訳(2014年度調査)

| 調査対象 | アンケート送付 診療科数 | 回答診療科数 | 回収率(%) | 回答診療科内訳 |
|--------------------------|-----------------|--------|--------|--------------------------|
| ①日腎研修施設教育責任者の所属診療科 | 560 | 175 | 31.2 | 内科158 小児科9 泌尿器科7 その他1 |
| ②日腎研修施設の①以外の診療科(専門医在籍) | 80 | 43 | 53.8 | 内科1 小児科42 |
| ③小児腎臓病学会評議員の在籍診療科(①、②以外) | 41 | 17 | 41.5 | 小児科17 |
| ④日泌教育基幹施設 | 834 | 213 | 25.5 | 泌尿器科213 |
| ⑤上記以外の診療科 | 218 | 38 | 17.4 | 内科31 泌尿器科4 その他3 |
| 合計 | 1733 | 486* | 28.0 | 内科190 小児科68 泌尿器科224 その他4 |

*腎臓病総合レジストリー(J-RBR/J-KDR)に参加登録済施設の診療科 91(82施設)

表2 2013年度 重点疾患新規受療患者数(2014年度調査)

| | 全回答診療科 | 診療科別 | | | | 所属施設別 | |
|---------------|---------------|--------------|-------------|-------------|-----------|-------------------|------------------------|
| | | 内科 | 小児科 | 泌尿器科 | その他 | 日腎研修施設教育責任者の所属診療科 | J-RBR/J-KDR参加登録済施設の診療科 |
| | 486科 | 190科 | 68科 | 224科 | 4科 | 175科 | 91科 |
| IgAN(構成割合%) | 2085 (100.0%) | 1889 (90.6%) | 155 (7.4%) | 39 (1.9%) | 2 (0.1%) | 1849 (88.7%) | 1192 (57.2%) |
| RPGN(構成割合%) | 928 (100.0%) | 890 (95.9%) | 9 (1.0%) | 23 (2.5%) | 6 (0.6%) | 831 (89.5%) | 508 (54.7%) |
| うち腎生検施行(施行率%) | 514 (55.4%) | 500 (56.2%) | 5 (55.6%) | 7 (30.4%) | 2 (33.3%) | 471 (56.7%) | 293 (57.7%) |
| 一次性NS(構成割合%) | 1888 (100.0%) | 1585 (84.0%) | 261 (13.8%) | 38 (2.0%) | 4 (0.2%) | 1548 (82.0%) | 1026 (54.3%) |
| うち腎生検施行(施行率%) | 1248 (66.1%) | 1124 (70.9%) | 103 (39.5%) | 19 (50.0%) | 2 (50.0%) | 1102 (71.2%) | 680 (66.3%) |
| 難治性NS(構成割合%) | 297 (100.0%) | 275 (92.6%) | 18 (6.1%) | 4 (1.3%) | 0 (0.0%) | 255 (85.9%) | 160 (53.9%) |
| PKD(構成割合%) | 1047 (100.0%) | 713 (68.1%) | 24 (2.3%) | 307 (29.3%) | 3 (0.3%) | 685 (65.4%) | 411 (39.3%) |

表3 2013年度年間腎生検施行数(2014年度調査)

| 診療科 | 腎生検数(構成割合%) |
|-----------------------|----------------------|
| 全回答診療科 | (486科) 8814 (100.0%) |
| 診療科別 | |
| 内科 | (190科) 6763 (76.7%) |
| 小児科 | (68科) 1091 (12.4%) |
| 泌尿器科 | (224科) 949 (10.8%) |
| その他 | (4科) 11 (0.1%) |
| 所属分類別 | |
| 日腎研修施設教育責任者の所属診療科 | (175科) 6892 (78.2%) |
| J-RBR/J-KDR参加登録済施設診療科 | (91科) 4754 (53.9%) |

表4-1 2013年度 RPGN の病因別新規受療患者(2014年度調査)

| | RPGN | MPO型 | | PR3型 | | 抗GBM型 | |
|-----------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|---------|-------|--|
| | | (構成割合%) | (構成割合%) | (構成割合%) | (構成割合%) | | |
| 全回答診療科 | 928 (100.0%) | 476 (51.3%) | 26 (2.8%) | 58 (6.3%) | | | |
| 診療科別 | | | | | | | |
| 内科 | 890 (100.0%) | 463 (52.0%) | 26 (2.9%) | 54 (6.1%) | | | |
| 小児科 | 9 (100.0%) | 3 (33.3%) | 0 (0.0%) | 1 (11.1%) | | | |
| 泌尿器科 | 23 (100.0%) | 10 (43.5%) | 0 (0.0%) | 1 (4.3%) | | | |
| その他 | 6 (100.0%) | 2 (33.3%) | 0 (0.0%) | 2 (33.3%) | | | |
| 所属分類別 | | | | | | | |
| 日腎研修施設教育責任者の所属診療科 | 831 (100.0%) | 448 (53.9%) | 25 (3.0%) | 52 (6.3%) | | | |
| J-RBR/J-KDR参加登録済施設診療科 | 508 (100.0%) | 275 (54.1%) | 17 (3.3%) | 26 (5.1%) | | | |

表4-2 2013年度難治性NSの病型別新規受療患者(2014年度調査)

| | 難治性NS | MCNS | | | MN | | | FSGS | | |
|-----------------------|--------------|------------|-------------|------------|---------|---------|---------|------|--|--|
| | | (構成割合%) | (構成割合%) | (構成割合%) | (構成割合%) | (構成割合%) | (構成割合%) | | | |
| 全回答診療科※ | 297 (100.0%) | 60 (20.2%) | 112 (37.7%) | 62 (20.9%) | | | | | | |
| 診療科別 | | | | | | | | | | |
| 内科 | 275 (100.0%) | 51 (18.5%) | 110 (40.0%) | 53 (19.3%) | | | | | | |
| 小児科 | 18 (100.0%) | 8 (44.4%) | 1 (5.6%) | 7 (38.9%) | | | | | | |
| 泌尿器科 | 4 (100.0%) | 1 (25.0%) | 1 (25.0%) | 2 (50.0%) | | | | | | |
| その他 | 0 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | | | | | | |
| 所属分類別 | | | | | | | | | | |
| 日腎研修施設教育責任者の所属診療科 | 255 (100.0%) | 48 (18.8%) | 103 (40.4%) | 49 (19.2%) | | | | | | |
| J-RBR/J-KDR参加登録済施設診療科 | 160 (100.0%) | 31 (19.4%) | 70 (43.8%) | 34 (21.3%) | | | | | | |

表 4-3 2013 年度 PKD の病型別新規受療患者 (2014 年度調査)

| | PKD | ARPKD |
|-----------------------|----------------|------------|
| 全回答診療科 | 1047 (100.0 %) | 54 (5.2 %) |
| 内科 | 713 (100.0 %) | 19 (2.7 %) |
| 小児科 | 24 (100.0 %) | 8 (33.3 %) |
| 泌尿器科 | 307 (100.0 %) | 27 (8.8 %) |
| その他 | 3 (100.0 %) | 0 (0.0 %) |
| 所属分類別 | | |
| 日腎研修施設教育責任者の所属診療科 | 685 (100.0 %) | 19 (2.8 %) |
| J-RBR/J-KDR参加登録済施設診療科 | 411 (100.0 %) | 15 (3.6 %) |

表 5 日腎研修施設(教育責任者の所属する診療科)における、2013 年度の重点 4 疾患
新規受療患者数、腎生検数の推計(2014 年度調査)

| | 2014年度調査 | | | |
|---------------------|--|-------------------------------|----------------------------------|-------|
| | 新規受療患者数 日腎研修施設分 (教育責任者所属 診療科) | 2013年度 新規受療患者数推計 | | |
| | | 施設病床数に 基づく推計 ¹⁾ | アンケート回収率に 基づく推計 ²⁾ | |
| IgAN | 1849 | 5344 | — | 5907 |
| RPGN | 831 | 2402 | — | 2655 |
| 難治性NS ³⁾ | 255 | 757 | — | 831 |
| 一次性NS | 1548 | 4474 | — | 4946 |
| PKD | 685 | 1980 | — | 2188 |
| 腎生検数 | 6892 | 19919 | — | 22019 |

1)日腎研修施設分の新規受療患者数÷日腎研修施設総病床数に占める回答施設総病床数のカバー率(97,390/281,070=0.346)

2)日腎研修施設分の新規受療患者数÷日腎研修施設のアンケート回収率(175/560=0.313)

3)有効回答があった診療科数172科とその総病床数94,858床を計算に使用(アンケート回収率=0.307、病床カバー率=0.337)

表 6 2007 から 2013 年度の重点疾患の新規受療患者推計数(下 2 桁四捨五入)

| | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 |
|-------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| IgAN | 5300-6300 | 5200-6300 | 5400-5900 | 5000-5700 | 4700-5200 | 5400-6000 | 5300-5900 |
| RPGN | 1300-1500 | 1500-1800 | 1600-1800 | 1600-1800 | 1800-2100 | 2100-2400 | 2400-2700 |
| 難治性NS | 1200-1400 | 1000-1200 | 1000-1100 | 800-900 | 800-900 | 800-900 | 800-800 |
| 一次性NS | — | 5900-6200 | 5400-5900 | 4600-5200 | 4100-4600 | 4600-5200 | 4500-5000 |
| PKD | 900-1000 | 1000-1200 | 1400-1500 | 1500-1700 | 1300-1500 | 2000-2200 | 2000-2200 |
| 腎生検数 | — | 17000-21000 | 19000-20000 | 18000-21000 | 17000-19000 | 17000-21000 | 20000-22000 |

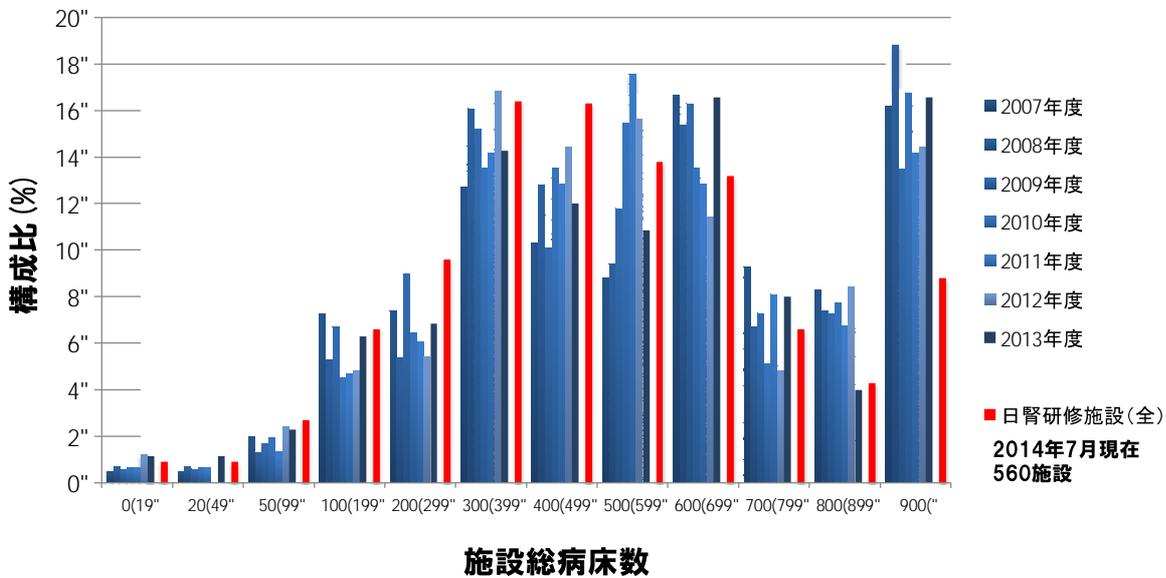


図2 回答診療科（日腎研修施設）の総病床数の分布（2007～2013年度）

表7 2011-2014年調査に4年連続回答した診療科のRPGN新規受療患者数と年間腎生検施行数の年次推移

| 地域区分 | 診療科数 | 2010年度(2011年調査) | | 2011年度(2012年調査) | | 2012年度(2013年調査) | | 2013年度(2014年調査) | |
|------|------|-----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|----------|
| | | RPGN新規受療患者数 | 年間腎生検施行数 | RPGN新規受療患者数 | 年間腎生検施行数 | RPGN新規受療患者数 | 年間腎生検施行数 | RPGN新規受療患者数 | 年間腎生検施行数 |
| 東日本 | 17 | 133 | 1355 | 167 | 1195 | 203 | 1298 | 177 | 1234 |
| 西日本 | 20 | 109 | 927 | 82 | 891 | 82 | 936 | 104 | 923 |
| 全国計 | 37 | 242 | 2282 | 249 | 2086 | 285 | 2234 | 281 | 2157 |

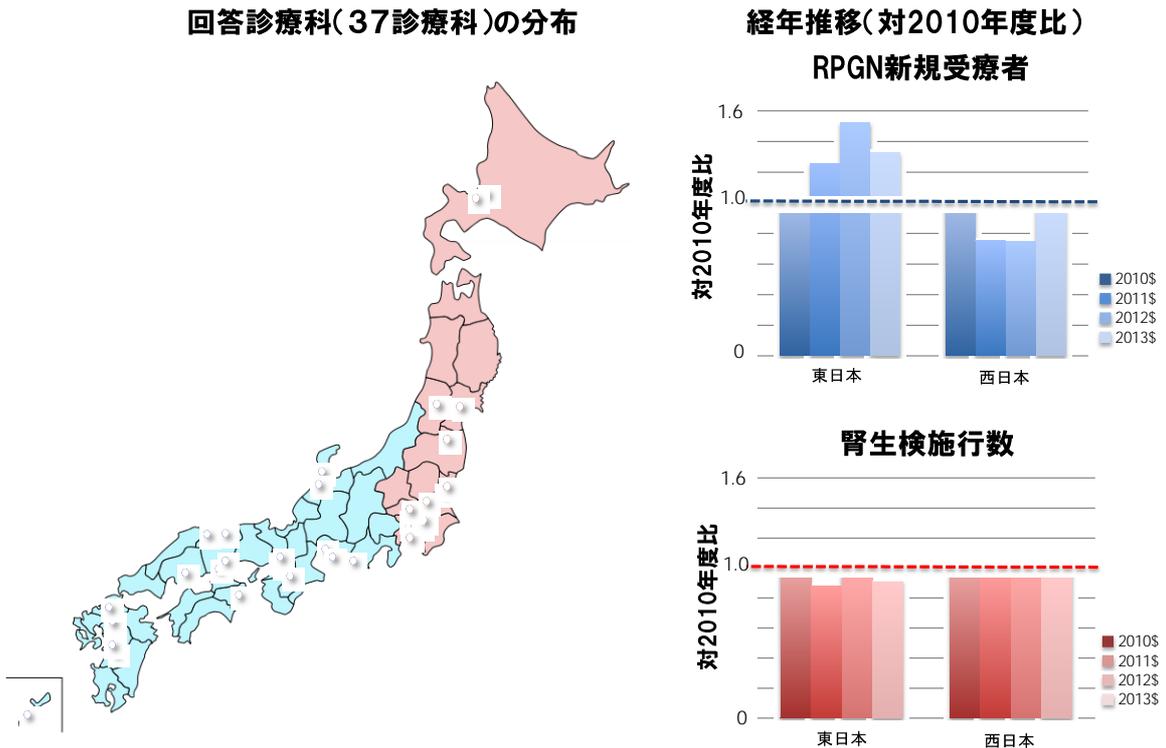


図3 回答診療科(37診療科)の分布とRPGN新規受療患者，腎生検施行数の経年推移（対2010年度比：～2013年度）

別表 アンケート回答診療科

| | | | | | |
|----------------------|--------------|---------------------|-------------|-------------------|------------|
| 仁徳会病院 | 泌尿器科 | 公益財団法人がん研究会有明病院 | 泌尿器科 | 筑波学園病院 | 泌尿器科 |
| 札幌共立五輪橋病院 | 腎臓・循環器内科 | 社会医療法人社団順江会江東病院 | 小児科 | 筑波大学附属病院 | 腎臓内科 |
| 勤医協中央病院 | 泌尿器科 | NTT東日本関東病院 | 高血圧・腎臓内科 | 筑波大学附属病院 | 泌尿器科 |
| 済生会小樽病院 | 泌尿器科 | 昭和大学病院 | 腎臓内科 | 友愛記念病院 | 泌尿器科 |
| 市立小樽病院 | 泌尿器科 | 昭和大学病院 | 泌尿器科 | 茨城西南医療センター病院 | 腎臓内科 |
| 函館中央病院 | 泌尿器科 | JCHO東京蒲田医療センター | 透析科 | 県西総合病院 | 泌尿器科 |
| 社会医療法人母恋日鋼記念病院 | 小児科 | 医療法人社団日松和会池上総合病院 | 腎臓医療センター | 茨城県立中央病院 | 腎臓内科 |
| NTT東日本札幌病院 | 腎臓内科 | 東邦大学医療センター大橋病院 | 腎臓内科 | 茨城県立中央病院 | 泌尿器科 |
| 札幌医科大学付属病院 | 泌尿器科 | 吉川内科小児科病院 | 内科・小児科 | 水戸医療センター | 泌尿器科 |
| 北海道大学病院 | 第二内科 | 国立成育医療研究センター | 腎臓リウマチ膠原病科 | 水戸済生会総合病院 | 腎臓内科 |
| 北海道大学病院 | 泌尿器科 | 社団法人至誠会第二病院 | 泌尿器科 | 石岡第一病院 | 小児科 |
| KKR札幌医療センター | 外科 | 東京医科大学病院 | 腎臓内科 | 栃木県立がんセンター | 泌尿器科 |
| KKR札幌医療センター | 泌尿器科 | 東京医科大学病院 | 小児科 | JHCOうつのみや病院 | 腎臓内科 |
| JCHO北海道病院 | 泌尿器科 | 慶應義塾大学病院 | 腎臓内分泌代謝科 | 獨協医科大学病院 | 小児科 |
| 国立病院機構北海道医療センター | 腎臓内科 | 慶應義塾大学病院 | 小児科 | 新小山市民病院 | 腎臓内科 |
| 国立病院機構北海道医療センター | 小児科 | JCHO東京新宿メディカルセンター | 泌尿器科 | 足利赤十字病院 | 泌尿器科 |
| 江別市立病院 | 泌尿器科 | 国立国際医療研究センター | 腎臓内科 | 自治医科大学附属病院 | 腎臓内科 |
| 滝川市立病院 | 泌尿器科 | 国立国際医療研究センター | 泌尿器科 | 自治医科大学附属病院 | 小児科 |
| 富良野協栄病院 | 泌尿器科 | 東京女子医科大学病院 | 腎内科 | 埼玉県済生会川口総合病院 | 泌尿器科 |
| 旭川厚生病院 | 泌尿器科 | 東京女子医科大学病院 | 腎臓小児科 | 三郷中央総合病院 | 泌尿器科 |
| 帯広厚生病院 | 泌尿器科 | 東京警察病院 | 泌尿器科 | 春日市立病院 | 泌尿器科 |
| 北海道社会事業協会帯広病院 | 循環器内科 | 立正佼成会附属佼成病院 | 内科 | 埼玉医科大学病院 | 腎臓内科 |
| 十和田市立中央病院 | 泌尿器科 | 豊島中央病院 | 内科 | 埼玉医科大学国際医療センター | 泌尿器腫瘍科 |
| 弘前中央病院 | 内科 | 都立大塚病院 | 内科 | 埼玉医科大学総合医療センター | 腎・高血圧内科 |
| 鷹揚郷腎研究所弘前病院 | 泌尿器科 | 東京腎泌尿器センター大和病院 | 腎臓内科 | 国立病院機構埼玉病院 | 小児科 |
| 国立病院機構弘前病院 | 小児科 | 公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院 | 腎臓内科 | 国立病院機構西埼玉中央病院 | 小児科 |
| 弘前大学医学部附属病院 | 小児科 | 帝京大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 防衛医科大学校病院 | 泌尿器科 |
| 弘前大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 日本大学医学部附属板橋病院 | 腎臓高血圧内分分泌内科 | 埼玉県立がんセンター | 泌尿器科 |
| 秋田大学医学部附属病院 | 腎泌尿器科 | 日本大学医学部附属板橋病院 | 泌尿器科 | 医療法人社団愛友会上尾中央総合病院 | 腎臓内科 |
| 雄勝中央病院 | 泌尿器科 | 杏林大学病院 | 第一内科 | 医療法人社団日高全日高病院 | 腎臓内科 |
| 大曲厚生医療センター | 泌尿器科 | 杏林大学病院 | 小児科 | 医療法人社団美心会黒沢病院 | 泌尿器科 |
| 大館市立総合病院 | 泌尿器科 | 杏林大学医学部付属病院 | 泌尿器科 | 前橋赤十字病院 | 泌尿器科 |
| 恵仁会三愛病院 | 泌尿器科 | 東京都立小児総合医療センター | 腎臓内科 | 群馬大学附属病院 | 泌尿器科 |
| 三愛病院附属矢巾クリニック | 泌尿器科 | 多摩北部医療センター | 腎臓内科 | 伊勢崎市民病院 | 泌尿器科 |
| 東北大学病院 | 腎・高血圧・内分分泌科 | 国家公務員共済組合連合会立川病院 | 泌尿器科 | 群馬県立がんセンター | 泌尿器科 |
| 東北大学病院 | 小児科 | 東京医科大学八王子医療センター | 泌尿器科 | 北関東循環器病院 | 循環器内科 |
| 医療法人實樹会仙塩利府病院 | 泌尿器科 | 東京慈恵会医科大学附属第三病院 | 泌尿器科 | 群馬県立小児医療センター | 腎臓内科 |
| 宮城県立がんセンター | 泌尿器科 | 稲城市立病院 | 小児科 | 公立碓氷病院 | 内科 |
| (独)地域医療機能推進機構仙台病院 | 腎臓血管腫瘍研究センター | 日本医科大学多摩永山病院 | 泌尿器科 | 三思会東邦病院 | 腎臓透析内科 |
| 仙台赤十字病院 | 泌尿器科 | (独)労働者健康福祉機構関東東労災病院 | 腎臓内科 | 長野市民病院 | 腎臓内科 |
| 仙台市立病院 | 小児科 | 日本医科大学武蔵小杉病院 | 小児科 | 篠ノ井総合病院 | 腎臓内科 |
| 石巻赤十字病院 | 内科 | 虎の門病院分院 | 腎センター内科 | 社会医療法人財団慈恵会相澤病院 | 腎臓内科 |
| みやぎ県南中核病院 | 泌尿器科 | 聖マリアンナ医科大学病院 | 腎臓・高血圧内科 | 信州大学医学部附属病院 | 腎臓内科 |
| 宮城県立こども病院 | 泌尿器科 | 財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 | 泌尿器科 | 市立甲府病院 | 小児科 |
| まつながキッズクリニック | 小児科・腎臓内科 | 昭和大学横浜市北部病院 | 泌尿器科 | 都留市立病院 | 内科 |
| 山形大学医学部附属病院 | 腎臓膠原病内科 | 昭和大学藤が丘病院 | 泌尿器科 | 長岡中央総合病院 | 内科 |
| 山形大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 横浜国立大学武蔵小杉病院 | 腎臓内科 | 国立病院機構新潟病院 | 小児科 |
| 公立萱鷗総合病院 | 泌尿器科 | 横浜市立みなと赤十字病院 | 腎臓高血圧内科 | 新潟大学医歯学総合病院 | 小児科 |
| 大原医療センター | 腎臓内科 | 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 小児科 | 新潟大学医歯学総合病院 | 泌尿器科 |
| 福島県立医科大学附属病院 | 泌尿器科 | 横浜市立大学附属病院 | 泌尿器科 | 新潟県済生会三条病院 | 泌尿器科 |
| 医療生協わたり病院 | 内科 | 横須賀市立市民病院 | 内科 | 富山大学附属病院 | 第二内科 |
| 総合病院福島赤十字病院 | 泌尿器科 | 横浜市立市民病院 | 泌尿器科 | 富山大学附属病院 | 泌尿器科 |
| 大原総合病院 | 小児科 | 神奈川県立がんセンター | 泌尿器科 | 富山赤十字病院 | 泌尿器科 |
| 大原総合病院 | 泌尿器科 | 厚木市立病院 | 内科 | 富山県立中央病院 | 内科 |
| 福島県立医科大学附属病院 | 腎臓高血圧内科 | 厚木市立病院 | 泌尿器科 | 高岡市民病院 | 内科 |
| 医療法人晶晴会入澤泌尿器科内科クリニック | 泌尿器科 | (独)国立病院機構横浜医療センター | 泌尿器科 | 厚生連高岡病院 | 泌尿器科 |
| 公立藤田総合病院 | 泌尿器科 | 横浜栄共済病院 | 泌尿器科 | 金沢医科大学水見市民病院 | 小児科 |
| 公益財団法人ときわ会常磐病院 | 腎臓内科 | 湘南鎌倉総合病院 | 泌尿器科 | 富山労災病院 | 内科 |
| 公益財団法人ときわ会常磐病院 | 泌尿器科 | 小田原市立病院 | 腎免疫血管内科 | 富山労災病院 | 泌尿器科 |
| 日本大学病院 | 循環器科 | 北里大学病院 | 泌尿器科 | 市立砺波総合病院 | 泌尿器科 |
| 日本大学病院 | 泌尿器科 | 東芝林間病院 | 腎臓内科 | 金沢医科大学病院 | 腎臓内科 |
| 社会福祉法人三井記念病院 | 腎臓内科 | 国家公務員共済組合連合会平塚共済病院 | 泌尿器科 | 石川県済生会金沢病院 | 泌尿器科 |
| 東京通信病院 | 泌尿器科 | 東海大学医学部付属大磯病院 | 腎臓内科 | 石川県立中央病院 | 腎臓内科・リウマチ科 |
| 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 | 腎センター | 東海大学医学部付属病院 | 小児科 | 金沢大学附属病院 | 腎臓内科 |
| 東京慈恵会医科大学附属病院 | 腎臓・高血圧内科 | 千葉市立青葉病院 | 泌尿器科 | 金沢大学附属病院 | リウマチ・膠原病内科 |
| 東京慈恵会医科大学附属病院 | 小児科 | 千葉大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 国立病院機構金沢医療センター | 腎臓内科 |
| 国際医療福祉大学三田病院 | 内科 | 千葉県がんセンター | 泌尿器科 | 国民健康保険小松市民病院 | 泌尿器科 |
| 国際医療福祉大学三田病院 | 泌尿器科 | 医療法人社団翠明会山王病院 | 泌尿器科 | 藤田記念病院 | 内科 |
| (独)地域医療機能推進機構東京高輪病院 | 小児科 | 新松戸中央総合病院 | 腎臓内科 | 福井大学医学部附属病院 | 腎臓内科 |
| 北里研究所病院 | 泌尿器科 | 医療法人社団太公会我孫子東邦病院 | 泌尿器科 | 福井大学医学部附属病院 | 泌尿器科 |
| 順天堂大学医学部附属順天堂医院 | 腎・高血圧内科 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院 | 泌尿器科 | 市立敦賀病院 | 泌尿器科 |
| 順天堂大学附属順天堂医院 | 泌尿器科 | 聖隷佐倉市民病院 | 小児科 | 福井県済生会病院 | 内科 |
| 日本医科大学付属病院 | 腎臓内科 | 総合病院国保旭中央病院 | 腎臓内科 | 順天堂大学医学部附属静岡病院 | 腎臓内科 |
| 日本医科大学付属病院 | 腎臓・内分分泌内科 | 亀田総合病院 | 腎臓高血圧内科 | 聖隷沼津病院 | 泌尿器科 |
| 東京大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 亀田総合病院 | 泌尿器科 | 三島総合病院 | 腎臓内科 |
| 東京大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 帝京大学ちば総合医療センター | 内科 | 富士市立中央病院 | 泌尿器科 |
| 赤羽中央総合病院 | 泌尿器科 | 帝京大学ちば総合医療センター | 泌尿器科 | 富士宮市立病院 | 内科 |
| 社会福祉法人勝榮堂病院 | 小児科 | 東京医科大学茨城医療センター | 腎臓内科 | 静岡県立総合病院 | 腎臓内科 |
| 医療法人嬉泉会嬉泉病院 | 内科 | 牛久愛和総合病院 | 腎臓内科 | 静岡市立静岡病院 | 泌尿器科 |
| 同愛記念病院 | 泌尿器科 | JAとりで総合医療センター | 腎臓内科 | 総合病院聖隷浜松病院 | 腎臓内科 |
| 社会福祉法人あそか会あそか病院 | 泌尿器科 | | | | |

| | | | | | |
|---------------------|----------|---------------------|-------|--------------------|------------|
| 聖隷浜松病院 | 小児科 | 京都府立医科大学附属病院 | 腎臓内科 | 徳島大学病院 | 腎臓内科 |
| 浜松医療センター | 腎臓内科 | 京都府立医科大学附属病院 | 腎臓内科 | 徳島大学病院 | 小児科 |
| 浜松医療センター | 泌尿器科 | 京都保健会京都民医連中央病院 | 内科 | 川島病院 | 腎臓内科 |
| 新都市病院 | 泌尿器科 | 京都大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 岩朝病院 | 外科 |
| 豊川市民病院 | 腎臓内科 | 洛和会音羽記念病院 | 腎臓内科 | 徳島赤十字病院 | 泌尿器科 |
| 蒲都市民病院 | 小児科 | 桃仁会病院 | 腎臓内科 | 阿南医師会中央病院 | 泌尿器科 |
| 岡崎市民病院 | 腎臓内科 | 京都医療センター | 腎臓内科 | 麻植協同病院 | 泌尿器科 |
| 安城更生病院 | 泌尿器科 | 舞鶴共済病院 | 泌尿器科 | つるぎ町立半田病院 | 泌尿器科 |
| 刈谷豊田総合病院 | 内科 | 公立南丹病院 | 泌尿器科 | (独)地域医療機能推進機構高知西病院 | 内科 |
| 名鉄病院 | 泌尿器科 | 市立奈良病院 | 泌尿器科 | 近森病院 | 透析科・腎臓内科 |
| 名古屋掖済会病院 | 泌尿器科 | 高済会高井病院 | 泌尿器科 | 高知医療センター | 泌尿器科 |
| 中部労災病院 | 泌尿器科 | 済生会中和病院 | 泌尿器科 | 高知大学医学部附属病院 | 内分泌代謝・腎臓内科 |
| 協立総合病院 | 泌尿器科 | 宇陀市立病院 | 内科 | 高知大学医学部附属病院 | 小児科 |
| 名古屋市立緑市民病院 | 泌尿器科 | 奈良県立医科大学附属病院 | 第一内科 | 高知大学医学部附属病院 | 泌尿器科 |
| 名古屋医療センター | 腎臓内科 | 奈良医科大学附属病院 | 小児科 | 医療法人島津会榎多病院 | 外科 |
| 国家公務員共済組合連合会名城病院 | 泌尿器科 | 奈良県立医科大学附属病院 | 泌尿器科 | 愛媛県立中央病院 | 腎臓内科 |
| 名古屋市立西部医療センター | 腎臓透析内科 | 町立大淀病院 | 内科 | 松山赤十字病院 | 腎臓内科 |
| 愛知県がんセンター中央病院 | 泌尿器科 | 和歌山県立医科大学附属病院 | 小児科 | 国立病院機構四国がんセンター | 泌尿器科 |
| 名古屋大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 医療法人千徳会桜ヶ丘病院 | 腎臓内科 | 愛媛大学医学部附属病院 | 泌尿器科 |
| 名古屋大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 原泌尿器科病院 | 腎臓内科 | 愛媛大学医学部附属病院 | 泌尿器科 |
| 名古屋第二赤十字病院 | 小児腎臓科 | 神戸大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 愛媛県立今治病院 | 泌尿器科 |
| 名古屋第二赤十字病院 | 泌尿器科 | 神戸大学医学部附属病院 | 小児科 | 門司メディカルセンター | 泌尿器科 |
| 名古屋市立大学病院 | 泌尿器科 | 神戸大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 小倉記念病院 | 泌尿器科 |
| 藤田保健衛生大学病院 | 腎内科 | 医療法人社団神鋼会神鋼病院 | 泌尿器科 | 済生会八幡総合病院 | 泌尿器科 |
| トヨタ記念病院 | 腎・膠原病内科 | (独)地域医療機能推進機構神戸中央病院 | 内科 | 製鉄記念八幡病院 | 泌尿器科 |
| あいち小児保健医療総合センター | 腎臓科 | 西神戸医療センター | 腎臓内科 | 医療法人財団池友会福岡新水巻病院 | 泌尿器科 |
| 知多市民病院 | 泌尿器科 | 神戸百年記念病院 | 泌尿器科 | 中間市立病院 | 内科 |
| JA愛知厚生連江南厚生病院 | 内科 | 市立芦屋病院 | 小児科 | 福岡市立こども病院・感染症センター | 腎疾患科 |
| 小牧市民病院 | 腎臓内科 | 兵庫県立尼崎病院 | 腎臓内科 | 医療法人豊貴会加野病院 | 泌尿器科 |
| 小牧市民病院 | 泌尿器科 | 兵庫県立西宮病院 | 腎臓内科 | (独)国立病院機構九州がんセンター | 泌尿器科 |
| 公立陶生病院 | 腎・膠原病内科 | 西宮市立中央病院 | 泌尿器科 | 社会医療法人青洲会福岡青洲会病院 | 腎臓内科 |
| 一宮市立市民病院 | 腎臓内科 | 兵庫医科大学病院 | 小児科 | 原三信病院 | 腎臓内科 |
| 一宮市立市民病院 | 泌尿器科 | 兵庫医科大学病院 | 泌尿器科 | 原三信病院 | 泌尿器科 |
| 岐阜市民病院 | 泌尿器科 | 市立伊丹病院 | 泌尿器科 | 九州大学病院 | 腎疾患治療部 |
| 揖斐厚生病院 | 泌尿器科 | 医療法人回生会宝塚病院 | 内科 | 九州大学病院 | 小児科 |
| 木沢記念病院 | 腎臓内科 | 宝塚市立病院 | 腎臓内科 | 九州大学病院 | 泌尿器科 |
| 市立四日市病院 | 小児科 | 宝塚市立病院 | 泌尿器科 | 福岡山王病院 | 小児科 |
| 鈴鹿回生病院 | 腎臓内科 | 姫路聖マリア病院 | 泌尿器科 | 福岡赤十字病院 | 腎臓内科 |
| (独)国立病院機構三重中央医療センター | 泌尿器科 | 明石市立市民病院 | 泌尿器科 | 福岡赤十字病院 | 小児科 |
| 三重大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 医療法人社団栄宏会小野病院 | 小児科 | 福岡赤十字病院 | 泌尿器科 |
| 医療法人社団岡波総合病院 | 透析科 | 鳥取県立中央病院 | 小児科 | 公立学校共済組合九州中央病院 | 腎臓内科 |
| 尾鷲総合病院 | 内科 | 鳥取大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 福岡大学筑紫病院 | 泌尿器科 |
| 大津市民病院 | 泌尿器科 | 鳥取大学医学部附属病院 | 小児科 | 久留米大学病院 | 腎臓内科 |
| 滋賀医科大学附属病院 | 腎臓内科 | 米子医療センター | 泌尿器科 | 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 | 腎臓内科 |
| 滋賀医科大学附属病院 | 小児科 | 労働者健康福祉機構山陰労災病院 | 腎臓内科 | 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 | 泌尿器科 |
| 近江八幡市立総合医療センター | 泌尿器科 | 松江赤十字病院 | 泌尿器科 | 国立病院機構姫野医療センター | 小児科 |
| 市立長浜病院 | 腎臓代謝内科 | 島根大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 佐賀大学医学部附属病院 | 腎臓内科 |
| (公)田附興風会医学研究所北野病院 | 腎臓内科 | 島根県立中央病院 | 小児科 | 長崎腎病院 | 内科 |
| 田附興風会北野病院 | 泌尿器科 | 岡山済生会総合病院 | 内科 | 長崎みもとメディカルセンター市民病院 | 泌尿器科 |
| 大阪回生病院 | 泌尿器科 | 岡山市立市民病院 | 泌尿器科 | 長崎大学病院 | 泌尿器科 |
| 淀川キリスト教病院 | 泌尿器科 | 岡山大学病院 | 泌尿器科 | 日本赤十字社長崎原爆病院 | 泌尿器科 |
| 大阪市立総合医療センター | 腎臓・高血圧内科 | 重井医学研究所附属病院 | 小児科 | 諫早総合病院 | 内科 |
| 大阪市立総合医療センター | 小児総合診療科 | (独)国立病院機構岡山医療センター | 腎臓内科 | 長崎島原病院 | 泌尿器科 |
| 大阪府立成人病センター | 泌尿器科 | NKO岡山医療センター | 腎臓内科 | 佐世保市立総合病院 | 腎臓内科 |
| 国家公務員共済組合連合会大手前病院 | 腎臓内科 | 岡山労災病院 | 泌尿器科 | 佐世保共済病院 | 腎臓内科 |
| 大阪赤十字病院 | 泌尿器科 | 医療法人創和会しげい病院 | 内科 | 嶋田病院 | 内科 |
| 大阪市立大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 倉敷成人病センター | 泌尿器科 | 熊本大学医学部附属病院 | 腎臓内科 |
| 多根総合病院 | 泌尿器科 | 倉敷中央病院 | 腎臓内科 | 熊本大学医学部附属病院 | 小児科 |
| (独)地域医療機能推進機構大阪病院 | 泌尿器科 | 水島協同病院 | 内科 | 松下会あけぼのクリニック | 腎臓内科 |
| 社会医療法人景岳会南大阪病院 | 内科 | 福山泌尿器科病院 | 泌尿器科 | 熊本赤十字病院 | 小児科 |
| 市立豊中病院 | 腎臓内科 | 福山医療センター | 泌尿器科 | 熊本赤十字病院 | 泌尿器科 |
| 箕面市立病院 | 小児科 | 福山市民病院 | 泌尿器科 | 熊本中央病院 | 腎臓科 |
| 箕面市立病院 | 泌尿器科 | JA尾道総合病院 | 泌尿器科 | 熊本中央病院 | 小児科 |
| 市立池田病院 | 腎臓内科 | 興生総合病院 | 内科 | 熊本中央病院 | 泌尿器科 |
| 国立循環器病研究センター | 高血圧・腎臓科 | 土谷総合病院 | 人工腎臓部 | 熊本労災病院 | 泌尿器科 |
| 大阪医科大学附属病院 | 腎臓内科 | 広島市立安佐市民病院 | 泌尿器科 | 水俣市立総合医療センター | 泌尿器科 |
| 関西医科大学附属滝井病院 | 小児科 | 星野外科クリニック | 外科 | 大分県立病院 | 泌尿器科 |
| 松下記念病院 | 腎不全体 | 県立広島病院 | 腎臓内科 | 大分県厚生連鶴見病院 | 腎臓内科 |
| 市立ひらかた病院 | 泌尿器科 | 県立広島病院 | 小児腎臓科 | 大分大学医学部附属病院 | 泌尿器科 |
| 有澤総合病院 | 泌尿器科 | 広島大学病院 | 腎臓内科 | 医療法人日光会白石病院 | 消化器内科 |
| JCHO星ヶ丘医療センター | 小児科 | 広島大学病院 | 泌尿器科 | 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 | 泌尿器科 |
| 阪南中央病院 | 小児科 | 医療法人中央内科クリニック | 内科 | 鹿児島大学病院 | 泌尿器科 |
| 医療法人徳州会松原徳州会病院 | 泌尿器科 | 中国労災病院 | 泌尿器科 | 公益財団法人昭和会今給黎総合病院 | 泌尿器科 |
| 済生会富田林病院 | 泌尿器科 | JA共済病院 | 腎臓内科 | 医療法人青仁会池田病院 | 腎臓内科 |
| 柏友クリニック | 内科 | 岡山広島総合病院 | 小児科 | 出水部医師会広域医療センター | 泌尿器科 |
| 近畿大学医学部附属病院 | 小児科 | 山口県立総合医療センター | 泌尿器科 | 医療法人八重瀬会同仁病院 | 内科 |
| (独)労働者健康福祉機構大阪労災病院 | 腎臓内科 | 済生会下関総合病院 | 泌尿器科 | 琉球大学医学部附属病院 | 腎泌尿器外科 |
| 大阪府立母子保健総合医療センター | 腎・代謝科 | 高松赤十字病院 | 腎不全体 | 中頭病院 | 腎臓内科 |
| 大阪府立母子保健総合医療センター | 泌尿器科 | 香川大学医学部附属病院 | 腎臓内科 | 沖縄県立中部病院 | 泌尿器科 |
| ペルランド総合病院 | 泌尿器科 | 香川大学医学部附属病院 | 泌尿器科 | 沖縄県立北部病院 | 腎臓内科 |
| 京都第二赤十字病院 | 泌尿器科 | 医療法人財団博仁会キナシ大林病院 | 内科 | | (順不同) |